BW1/BW2 300–6000 MHz RFパワーアンプ、標準47 dBm、RS-485



BW1は300–2000 MHz、BW2は2000–6000 MHzと規定されています。出力電力は最小46 dBm、標準47 dBm、利得は最小46 dB、標準47 dBです。

最大寸法は200 × 160 × 25 mmで、SMA入力、N出力、7ピンのハイブリッドD-Subを使用します。3、4番ピンがRS-485、5番ピンが帯域選択で、50 W出力時の標準電流は10 Aです。

電気仕様 +28.0VDC; 25°C; 50Ω

項目	記号	最小値	代表値	最大値	単位
動作周波数 — BW1	BW1	300	-	2000	MHz
動作周波数 — BW2	BW2	2000	-	6000	MHz
飽和 RF 出力電力	Pout	46	47	-	dBm
電力利得	Gp	46	47	-	dB
電力利得平坦度	Gp	-	±2	-	dB
VSWR	S11	-	1.5	-	-
50 W 時の高調波	H	-	-12	-	dBc
スプリアス信号	Spur	-	-60	-	dBc
入出力インピーダンス	Impedance	-	50	-	Ω
動作電圧	VDC	24	28	32	VDC
電力付加効率	Eff	-	20	-	%
Pout = 50 W 時の消費電流	IDD	-	10	-	A

監視および保護

項目	仕様
監視	電圧、電流、出力電力、反射電力、温度
出力 VSWR 保護	VSWR 3–3.5 → 停止
過温度保護	85 °C → 停止
電源保護	(VDC >32 V) または (VDC <24 V) または 逆極性 → 停止
過電流保護	IDD >15 A → 停止

絶対最大定格

項目	定格
損傷を生じない RF 入力電力	+10 dBm 最大
Pout = 50 W 時の負荷 VSWR	3:1; 全負荷位相・振幅、連続
熱過負荷	85 °C → 停止 (最大)

環境仕様

記載の環境条件は設計目標値です。ご使用の案件に適用される条件を確認してください。

項目	最小値	代表値	最大値	単位
動作温度	-20	-	50	°C
保存温度 [1]	-25	-	65	°C
相対湿度（結露なし）	-	-	95	%

[1] 保存温度

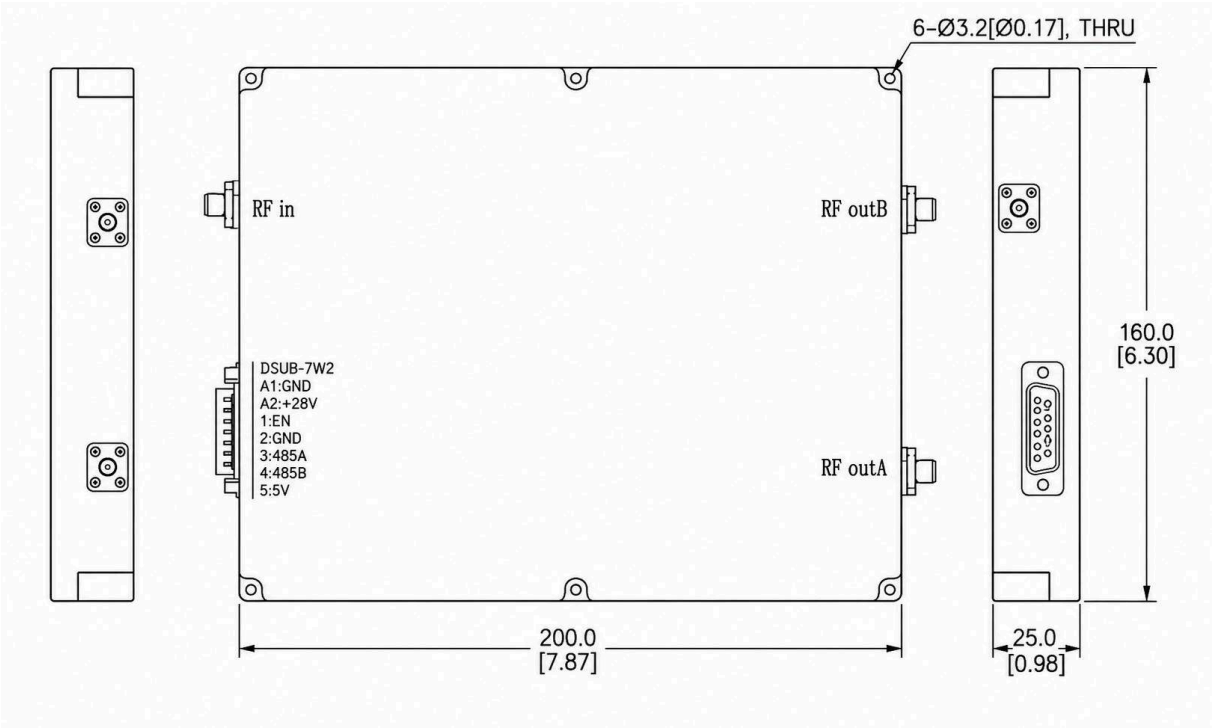
DC および制御インターフェース

ピン番号	説明	仕様
A1	A1 — グラウンド	グラウンド
A2	A2 — 電源正極	+28V
1	1 — イネーブル	TTLハイレベル（3.3 V）、内部プルダウン
2	2 — グラウンド	グラウンド
3	3 — 485A	RS-485 シリアル通信
4	4 — 485B	RS-485 シリアル通信

機械仕様

SWピン5について、原資料はTTL高レベルと低レベルの両方を3.3 Vと記載し、図面はピン5を5 Vと表示しています。切替電圧と帯域への対応は掲載していません。SWを配線する前に制御レベルと帯域選択を確認してください。

項目	値	単位
外形寸法	200 × 160 × 25 mm (最大)	mm
質量	2 kg (最大)	kg
RF 入力コネクタ	SMA, メス	-
RF 出力コネクタ	N, メス	-
DC／制御インターフェース	ハイブリッド, D-Sub 7, オス	-



現在の発行記録 · 1.4 · 2026-11-11. 仕様表の内容を更新しました。 置き換え対象の改訂版 1.3.

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。